

川13 個人情報取り扱いシステム用仮想PC環境の代替手段

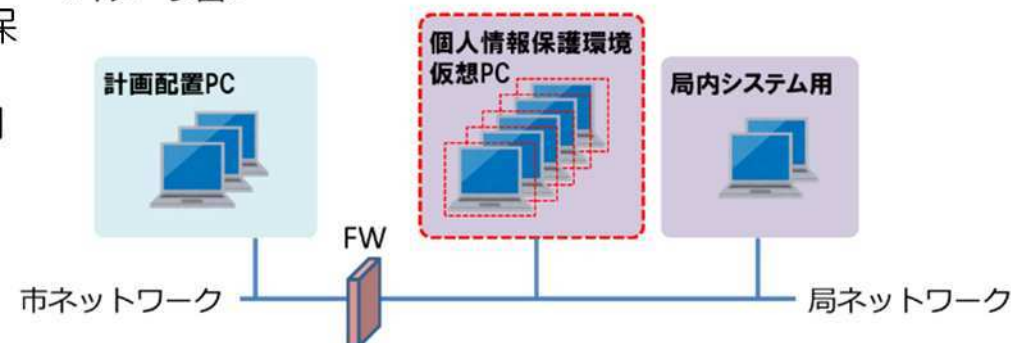
求める技術：⑮

1 課題を抱える業務の内容

個人情報を扱う業務システム（料金システム、マッピングシステム等）へアクセスするための環境（名称：個人情報保護環境）として、仮想PCを500台程度運用しています。

業務システム利用者は、計画配置PC（FAT-PC）を使用して仮想PCからの画面転送を受けとり、業務システムへは仮想PCからアクセスします。

「イメージ図」



2 課題の詳細

仮想PC環境の運用にあたっては、次の点が課題となっています。

- ・仮想PCを稼働・管理するためのサーバハードウェア群の維持管理やシステム更新が必要
- ・仮想PCから計画配置PCへ画面転送するためのライセンス費用負担
- ・仮想PC自体のOSセキュリティ対策作業が必要
- ・仮想PC用ソフトウェアライセンスの費用負担

3 こんな技術を求めています！

- ・仮想PC用OSを使用することなく、業務システムへの接続環境と計画配置PCをネットワーク分離を実現したい
- ・生体認証（できれば顔認証）により、利用者を限定したい
- ・業務システム～計画配置PC間のコピーペーストの制限（禁止）、スクリーンショットの制限（禁止）、データ持ち込み持ち出しの制限（持ち込み持ち出し記録の取得、無害化处理、条件を決めて持ち込み持ち出しの禁止）
- ・仮想PC上で操作する業務システムから、プリンター（圧着はがき等の特殊印刷もあり）へ印刷したい
- ・サーバハードウェア群の維持管理/システム更新の負荷を下げたい